

建築銅管(1/2, 3/4, 1)用リテーナ

■呼びサイズ 1/2, 2/3, 1 の建築銅管のメカ接合にそろばん継手と、専用リテーナ(注1)で無火気施工が実現します。

■既設銅管からステンレス管への更新改修にもそのまま絶縁なしで施工できます。(注2)
銅管のサイズ11/4, 11/2, 2インチの場合は裏面記載の専用オスアダプタを使用ください。



《必要なもの》

建築銅管用リテーナ + そろばん継手 (リテーナをSu用から銅管用に交換) + マーキングゲージ



《適用範囲》	使用圧	1.0MPa
	最高使用温度	60℃
	用途	給水、給湯、冷温水

《適用銅管》

JIS H3300配管用及び水道用銅管M、L 質別H(直管)

呼び	外径(mm)	タイプ	肉厚(mm)
15A	15.88	M	0.71
		L	1.02
20A	22.22	M	0.81
		L	1.14
25A	28.58	M	0.89
		L	1.27

注1)

建築銅管用のリテーナはインジケーターの色が黄色です
ステンレス管用は紫色ですので用途に合わせて下さい。

注2)

ステンレスと青銅、または銅との電位差は殆どゼロの為
絶縁の処置は不要で、下記のような接合が可能です



左側は銅管、右側にステンレス(Su)管を直結

そろばん継手の施工には講習会の受講をお願いします

《施工手順》



①管の切断

ローラーカッターで管軸に直角に切断して下さい。
銅管に傷や変形がある場合使用できません。



②面取り

銅管の内外面の面取りを必ず実施下さい。



③差し込み標線の記入

マーキングゲージなどで 所定の位置 (管端から43mm位置)に標線を記入下さい。



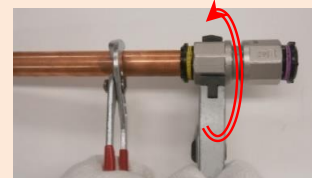
④リテーナ交換, 銅管差し込み

リテーナを建築銅管用に交換後銅管の標線がリテーナに隠れるまで、銅管を差し込んで下さい。



⑤リテーナの手締め

ナットを固定し、リテーナを時計回りに手締めしてください。



⑥ナットの本締め

銅管をプライヤーなどで固定し、ナットを反時計回りにレンチで締め込む。黄色のインジケーターが隠れると、締込を止めて下さい。



⑦確認-1

標線の位置がマーキングゲージの旗印の位置(12mm)を超えないこと

⑦確認-2

リテーナの黄色のインジケーターが見えないこと。

